



# プラス 日報だより vol. 17

## 岩手日報

2025年6月発行

十日報プロジェクトチーム

盛岡市内丸3-7

電話019-653-4124

- クミハン
- 新聞ワークシート
- 声欄の投稿
- ビジュアルニュース
- ふるさと学習

### ふるさと学習 を追加！

ふるさと学習のページを追加しました。かつて岩手県にあった642の村ごとの話題を掘り起こす「いわて旧村めぐり」と戦争に関する県内の記事を集めた「戦後80年」のコンテンツが活用できます。順次、「産業」「先人」などを追加していきます。



戦後80年

盛岡・東北 県南 沿岸

2021年 8月13日付 朝刊20面  
「空腹感 忘れられない」  
紙面を読む 記事を読む

2021年 8月15日付 朝刊1面  
「北を向き私は悼む」  
紙面を読む 記事を読む

紙面

岩手日報 2021年08月13日 朝刊 20頁

空腹感 忘れられない

苦し米集めた祖母 感謝の念、今もなお

2パターンで読めます！

## 戦後80年 学びにぜひご活用ください

ふるさと学習「戦後80年」では、過去に岩手日報に掲載された県内の方の戦争証言記事約60本をピックアップしています。掲載紙面に加え、ルビ入りのテキストを読むこともできます。「盛岡・県北」「県南」「沿岸」の地域別に掲載しています。

ルビ入りテキスト

#あちこちのすずさん 空腹感 忘れられない

だいたい1952年生まれの盛岡市鹿鷹の 高橋 龍児さん(69)は、幼い頃に戦に感じていた空腹感を今も忘れずにいる。食糧事情が悪化する中、祖母のヨネさんが苦しんで米を集め、家族を守った。往時を振り返り、感謝の念を暮らせる。

家は代々、米穀店を営んでいたが、食糧事情が悪化するにつれて、米の悪化に伴い終戦までに廃業した。店には米の大きな升があり、常に米が詰まっていたと聞いたが、当時5歳くらいだった龍児さんは信じられない思いでした。

日課は、和だご職人の父 武さんと自宅前の大懸清水で水をくむこと。父はてんびん棒を担ぎ、お風呂を沸かす。お風呂は、お風呂の湯を沸かす。お風呂の湯を沸かす。

ルビ



「ビジュアルニュース」に7月、「戦争の実相—終戦80年—」を追加します。日本はなぜ戦争に突き進んだのか、時系列をたどって紹介します。



## 奥州市・若柳小 キャリア教育に活用



奥州市胆沢の若柳小の6年生21人は、プラス日報を使い「自分の生まれた日」を伝える新聞を作り、生き方を考えるキャリア学習をスタートしました。新聞作りは宿題や授業参観で取り組み、家族のコメントも盛り込んでいます。

### 若柳小・キャリア教育：テーマとスタートの授業の流れ

★自分の生き方について考えよう★ (課題) 自分の「誕生日」を知ろう

#### 宿題 家族へのインタビュー

- 生まれた時の様子 (体重、身長、時間など)
- 名前の由来
- 赤ちゃんの時の写真

#### 授業

- ① プラス日報で、生まれた日の古里の出来事を調べて記事にする
- ② インタビューの記事を紙面化する

紙面は記事2本で構成。1本目は誕生の様子や名前の由来を家族にインタビュー、2本目は記事検索機能で生まれた日の出来事を調べ要約しました。

2学期からは、地域住民や保護者から職業や仕事について学び、新聞制作ソフトでまとめるほか、記事検索機能で地域の文化や仕事について調べる予定です。



安倍瑠那さんは「名前の由来や父母の喜びを分かりやすく伝えるように工夫した」と充実。

安倍さんの父良太さんは「過去の記事を調べられるプラス日報は便利。子供たちが生き生きと端末に向かう姿が印象的」と語りました。

小原睦子校長は「保護者も一緒になり『どんなふう生きていきたいか』を考えさせたい。好奇心が広がるようにプラス日報の新聞を活用したい」と見据えています。

## ・・・ココガワカラン!!・・・



ニッポちゃん

戦後80年に関する記事が読みたいよ～

「調べる」で「★戦後80★」と検索すると関連記事が読めるぞ!



イワさん